# ヒヤリングアート NEWS LETTER

Vol.19
2026. Autumn

補聴器ユーザー インタビュー

## 植田（うえた） 雅也（まさや）さん

中学時代にブルーグラスと出会って以来、音楽とともに歩んできた植田 雅也さん。ミュージシャンとしてステージに立ち続ける一方で、少しずつ聴こえの変化を感じるようになりました。
現在は補聴器を取り入れながら、自分らしいスタイルで仕事や音楽を楽しんでいます。そんな植田さんに、現在の音楽活動や補聴器を使い始めたきっかけなどについて伺いました。



ヒヤリングアート代表 園原・植田雅也さん

### 現在、どのような音楽活動をされていますか？

メインでは「ゴローショー」でベースを弾いています。それから、「ハーベストムーン」という女性ボーカルのバンドがあって、そこでは僕がリーダーをしています。もう一つ、「植田雅也はKING OF BLUEGRASS」というバンドでは、僕がボーカルを担当しています。この3つが、今のバンド活動の中心ですね。その他にも、ブルーグラスのフェスティバルなど音楽に関わるイベントを主催・運営しています。

### 音楽と出会ったきっかけを教えてください

中学2年のときです。当時の僕はバスケット少年で、音楽にはまったく興味がなかったのですが、ある日、友人に誘われて、京都のコンサートへ行きました。そこで初めて「バンジョー」という楽器を見て、「かっこいいな」と思ったんです。そのときに「アール・スクラッグス」という名前を覚えて、近所のレコード屋へ買いに行きました。家で聴いて感動して、そこからのめり込んでいきました。

### 聴こえの変化を感じたのは、いつ頃からですか？

3年ほど前の健康診断で、初めて「聴こえてませんね」と言われたんです。その頃、仕事で困るようになりました。コロナ禍でみんながマスクをするようになって、部下の小さな声が全然聞こえなくなってしまったんです。会議でも何を話しているのか聞き取れない。そういう状況が続いて、「これはまずいな」と思い始めました。



僕にとって音楽は、酸素みたいなもの。音楽があるから、元気でいられるんです。

### ヒヤリングアートを選ばれた理由を教えてください

他のお店でも補聴器を勧められたことはありました。でも、園原さんの説明は、情報量が20倍くらい多かったんです。それに、音楽のことにまで踏み込んでくれる。僕が楽器をやっていることを前提に、演奏するときと日常会話をするときの聴こえ具合など、細かい調整まで考えてくださるんです。補聴器は、やっぱり専門的な知識のある方に相談することが大切だと思いました。

### 実際に補聴器を装用してみていかがでしたか？

会議でもきちんと聞こえるようになり、適当に相槌を返すようなことがなくなりました。ベースを弾くときは補聴器をつけていますが、歌うときは、外したほうが気持ちよく歌えることもあります。今は、話をするときと演奏するときで2つのモードを切り替えて、自分が心地よく聞けるように使い分けています。

### 読者にメッセージをお願いします

補聴器はメガネのようなもので、使ってみるとその良さがわかります。でも、いざ補聴器をつけるとなると、なかなかハードルが高いですよね。だからこそ、今すぐ必要でなくても、補聴器について少し知っておくだけでもいいと思います。いざ必要になったときに、自分に合ったものを選びやすくなりますし、補聴器をもっと自然に取り入れられるのではないでしょうか。

### 植田さんの補聴器の調整でこだわったこと！

植田さんは、主に高音域の聴力が低下し、音は聞こえていても言葉の内容が聞き取りづらく、お仕事で不便を感じておられました。装用練習を重ねながら言葉をより聞き取りやすくするとともに、ギターやウッドベースの残響音がきれいに聞こえるよう、音楽を楽しむための調整も行いました。



代表：園原

# 遊んで、学んで、語り合って！

## ヒヤリングアート社員旅行 in 沖縄




今年の4月、ヒヤリングアートの社員旅行で沖縄に行ってきました！
那覇空港に到着すると、沖縄は初夏を感じるさわやかな暑さ。今回の旅では、沖縄を楽しむことはもちろん、平和について考え、同じ補聴器専門店から学ぶ時間もあり、さまざまな経験をする3日間となりました。

### 平和の大切さを改めて感じる時間

沖縄に到着して最初に向かったのは、「ひめゆりの塔・平和祈念資料館」。「社員のみんなに、ぜひ知ってほしい」という園原代表の想いから、今回の社員旅行で最初の目的地となりました。
館内の展示資料では、戦争を体験した方の証言映像を通して、当時の生々しい様子が描かれていました。戦争を二度と繰り返してはいけないと心に刻むとともに、今ある平和への感謝を改めて感じる貴重な機会となりました。

### 夜は沖縄料理と民謡で乾杯！

夜は、沖縄民謡の生ライブを楽しめるお店で懇親会。三線の音色と歌声に耳を傾けながら、地ビールや泡盛、沖縄ならではの郷土料理をいただきました。普段はそれぞれの店舗で働くスタッフも、この日は仕事を離れて、ワイワイガヤガヤ。「美味しい！」「楽しい！」沖縄の夜をにぎやかに満喫しました。



### 2日目は自由行動！

2日目は、それぞれのグループに分かれて自由行動。園原のグループは、話題の「JUNGLIA OKINAWA」へ向かいました。到着すると、目の前に現れたのは、高さ約19メートルの巨大なブラキオサウルス！ その大きさと迫力にびっくり！大自然と融合した遊園地で、さまざまなアトラクションを楽しみました。園原は、空飛ぶ体験にも挑戦。普段なかなかできない体験も沖縄旅行の楽しい思い出となりました。

### 琉球補聴器さんを訪問！

3日目は、沖縄で長年にわたり地域の「聴こえ」を支えている琉球補聴器さんを訪問しました。
森山 賢 社長に迎えていただき、老舗の補聴器専門店として、大切にされていることや、お店づくりへのこだわりなど、さまざまなお話を伺いました。
お話を伺う中で、お客様一人ひとりを大切にする姿勢に、私たちと共通するものを感じました。場所は離れていても、補聴器を通してお客様に寄り添い、より良い聴こえを届けたいという想いは同じ。多くの学びと刺激をいただく、貴重な訪問となりました。




スタッフ同士でさまざまな時間をともにし、たくさんの思い出ができた今回の社員旅行。笑顔いっぱいの3日間となりました！

**社員紹介**



豊中店　三浦 佳奈

はじめまして。2026年3月に入社いたしました、三浦 佳奈（みうら かな）と申します。前職では言語聴覚士として病院に勤めており、「話す」「聞く」「食べる」ことが難しくなった方へのリハビリを行っていました。その中で、耳鼻咽喉科での聴力検査も行っており、「聞く」ことに、より深く関わりたいと考え、入社しました。補聴器を通して、皆様の生活がより豊かなものになるようサポートしていきたいと考えています。至らない点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

# 美しい庭には、時を育てる石がある

### ～ヨーロッパの庭文化を届ける、ユーロストンの想い～

ヒヤリングアート豊中店・別館の玄関を彩り、訪れる方をやさしく迎えてくれる季節の花々と美しいオーナメント。このオーナメントは、宝塚にある株式会社ユーロストンから迎えたものです。ユーロストンは30年以上にわたり、ヨーロッパの石やテラコッタ、庭のある暮らしの文化を日本へ届けてきました。今回は二代目社長・並木 遼太郎さんを訪ね、石の魅力と、庭のある豊かな暮らしへの想いを伺いました。



ヒヤリングアート豊中店 別館前

**ユーロストンではどんな商品を扱っていますか？**

ユーロストンでは、ヨーロッパ各地から輸入した石像やガーデンオーナメント、テラコッタ（素焼き鉢）噴水などを取り扱っています。ヨーロッパの庭で長く愛されてきた、美しさと風格を感じられる商品ばかりです。

一般のお客様はもちろん、造園業者やエクステリア業者、ガーデニング ショップなど、庭づくりに携わる多くの方々にもご利用いただいています。

**特におすすめしたい商品はありますか？**

イタリア・トスカーナ地方にある「インプルネータ」という町で作られるテラコッタ（素焼きの鉢）です。インプルネータは、世界的にも有名でそこで作られる植木鉢は、目に見えない無数の穴を持ち、通気性や排水性に優れているのが特徴です。テラコッタは植物にとって非常に良い環境をつくってくれる鉢だと言われています。ここにあるものは、本場インプルネータの工房を訪ね、現地から直接取り寄せています。



テラコッタ（素焼きの鉢）



エンジェルのオーナメント

**石の魅力について教えてください**

石の魅力は、時間とともに育っていくところです。樹脂製の鉢は置いたときが一番きれいですが、少しずつ劣化していきます。一方で石は、苔がついたり色合いが変わったりしながら、年月とともに風合いを増していき、景色の一部として成長していく。その姿にロマンを感じます。



ユーロストン代表の並木 遼太郎さんとヒヤリングアートの園原

**今後、どんなことを伝えていきたいですか？**

庭というと、植物を植えたり手入れをしたり、少し大変なイメージがあるかもしれません。でも、気に入った鉢やオーナメントをひとつ置くだけでも、いつもの景色が少し変わり、庭で過ごす時間が楽しくなります。

ユーロストンでは、これからもヨーロッパの美しい石像やテラコッタを通して、庭を眺めたり、季節の変化を感じたりする、そんな暮らしの楽しみ方を多くの方にお伝えしていきたいと思っています。

EURO STONE

**株式会社ユーロストン**

〒669-1211 兵庫県宝塚市大原野字同道18-1

予約制のため、ご来店の前にメールにてご連絡ください。

**Email：info@eurostone.co.jp** OPEN:平日（月～金）10時～16時

# マレーシア クアラルンプールへ
# 最新補聴器レポの旅！

**2026年6月、マレーシア・クアラルンプールで開催された「アジア聴覚ヘルスケアカンファレンス2026（AHHC 2026）」に、ヒヤリングアートの園原が参加しました。新しい補聴器やAI技術に触れ、国境を越えてさまざまな人と交流。今回は、そんなクアラルンプールでの「学びと出会いの旅」をレポートします。**



オーティコン各国の代表による報告会

## 聴覚医療や補聴器の専門家がアジアに集結

テーマは、**「アジアに耳を傾ける：聴覚ケアの変革」**。アジア各国から聴覚医療や補聴器に携わる専門家や関係者が集まりました。

今回、大きな注目を集めていたのが、オーティコンの新製品「Oticon Zeal（オーティコン ジール）」をはじめとする最新技術です。

会場には「デモ・ヴィレッジ」と呼ばれる体験型のエリアが設けられ、最新のAI技術やストリーミング、スマートフォンとの連携、オーティコンが大切にしている「Brain-Hearing™（ブレインヒアリング）」の最新研究などを、実際に見て、聞いて、体験することができました。

補聴器の技術の最前線に直接触れられたことは、日々お客様の聴こえに向き合う私たちにとっても、とても刺激的な経験となりました。





日本の補聴器販売店さんやメーカーの技術者の方、マレーシアの販売店さんとの出会いがありました。（展示会にて）

## 「人」とつながる時間も、大きな収穫に

そして今回、最新技術と同じくらい印象に残ったのが、さまざまな方との交流です。

デマントジャパンの齋藤社長をはじめ、技術者の方々、他の販売店の方々とも直接お話しする機会があり、普段なかなか聞くことのできないお話や、それぞれの立場から見た聴覚ケアについて意見を交わすことができました。

さらに、アジア各国から集まった参加者との交流もあり、国や地域によって聴こえを取り巻く環境や文化が異なることを知ることができました。さまざまな考え方や取り組みに触れたことで、私自身の視野も広がったように感じます。

クアラルンプールで触れた最新の技術や研究、そして多くの方々との交流から得た気づき。今回の経験を、これからの日々のご相談や補聴器のご提案に活かしていきたいと思います。



オーティコンの代表や販売店さんとの交流（懇親会にて）


## 補聴器のヒヤリングアート

**ヒヤリングアート豊中補聴器センター（本店）：06-6848-4133**
**ヒヤリングアート池田補聴器専門店：072-751-3341**
**ヒヤリングアート高槻補聴器センター：072-683-4133**
**ヒヤリングアート茨木補聴器センター：072-634-4133**
営業時間：10:00～18:00（ご予約優先） 休日：水・日・祝【全店 認定補聴器技能者 常駐】

**ミュージック カフェ & バー アビリーン** TEL: 090-8643-4133
豊中市岡町北1-1-5 ラークスパ 2F（阪急岡町駅前） https://abilene.jp

**ヒヤリングアート株式会社**
大阪府豊中市岡町北1-1-15 1階
https://www.hearingart.co.jp

Hearing Art ヒヤリングアート

ABILENE MUSIC CAFE & BAR

ヒヤリングアート
HPはこちら

アビリーン
HPはこちら